

とうふねこ座：市川雅子 画

# まちがいさがし クイズ

## 問題

上下の絵を見くらべて、  
まちがいを8カ所見つけてください。

### 応募方法

ハガキまたはファクスに、答えと住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり1月号に掲載しますので、ご了承ください。

### 送り先

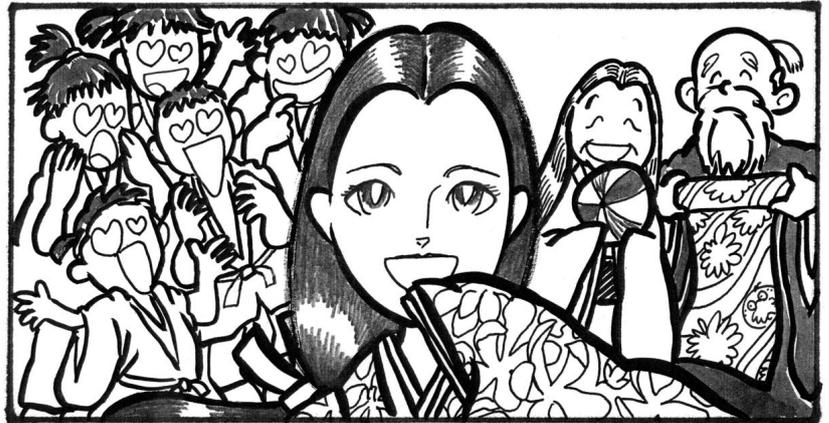
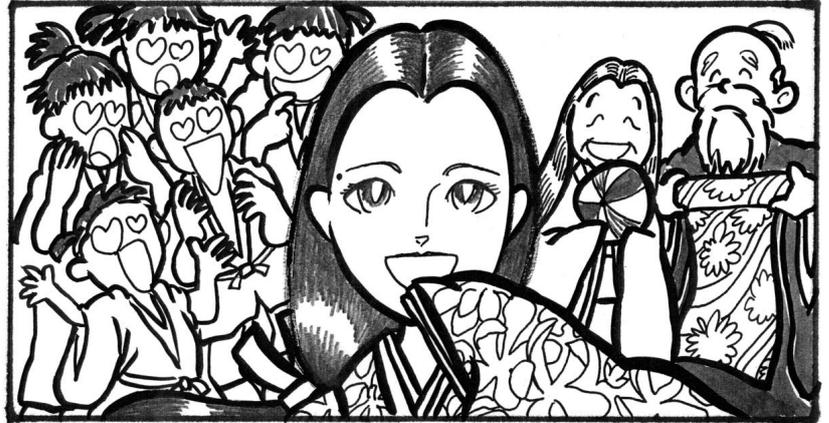
〒443-8601 旭町17番1号  
企画広報課「クイズ」係  
FAX66♦1190

### 応募締切

11月16日(月)当日消印有効

### プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはユトリーナバーデゾーン無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は1月初旬ごろ郵送します。



## 龍若長者の宝(竹谷町)

むかしむかし、竹谷に龍若長者といいたいようなお金持ちが住んでいた。どんなものでも手に入れることができた長者にも、一つだけ叶わないことがあった。それは子供がいないことだった。思いもよらず年をとってから一人娘を授かった。それからは娘につきっきりで暮らした。娘がくしゃみをすれば「それ医者だ、薬だ」と騒ぎ、娘が村の子供の手まりを欲しがれば、都から取り寄せた金の糸で手まりを百個も作らせた。娘はたいへん美しく育ち、若者たちは娘を一目見るとその日は仕事にならなくなってしまうたそう。どうしたことが、娘が十八になった時突然高熱を出し寝込んでしまった。長者夫婦は必死に看病したがとうとう十日十晩めに娘は亡くなってしまった。長者夫婦が嘆き悲しんでいると仏様が現れ、「おまえはこの村のためにいろいろ尽くしてくれたので、ひと目娘に会わせてやろう。お前の財産全てを真夜中に枯れ木の下に埋めるがよい。そうすれば、お盆の十六日には枯れ木の下に白い花が咲き、花の精となって娘が現れることだろう。」と告げ姿を消した。長者はその晩、仏様の言うとおりに金銀財宝を埋めた。娘に会えるというお盆の十六日に長者夫婦はどうしたことか熱を出し寝込んでしまった。その二人の枕元に娘が現れ長者夫婦は娘と手を取りあつて闇の中へ消えていった。長者の宝の噂は広まりふとどき者達が探したが見つけれず、それどころかバチが当たった。長者の宝はお盆の十六日に竹谷の沖から山を眺めて枯れ木に白い花が咲いているのを見た者の手に入るといふ言い伝えが残っている。

## 9月号の答え

9月号クイズまちがいさがし(七福神おどり)にたくさんのご応募ありがとうございました。応募総数は64通あり、正解者は61人でした。その中で抽選を行った結果、幸運な方は次の5人の方です。  
**当選者(敬称略・50音順)**  
形原町 石田千枝子  
御幸町 小笠原 豊  
形原町 貝吹 美有  
形原町 小林 郁子  
三谷町 水野 里美  
おめでとうございます。賞品は11月初旬に発送します。

